

具 体 的 目 標		具 体 的 方 策 ・ 評 価 指 標		自己評価結果	成 果 と 課 題	改 善 方 策	等 学 校 関 係 者 評 価
三 学 年	規範意識を高める。	卒業年次に向けて必要な生活態度・礼儀やマナーとともに、責任ある言動を身に付けさせる。	B		挨拶がしっかりとできるようになってきた。ルールやマナーについて自ら考える生徒もでてきた。	敬語の使い方や目上の人に対する接し方をさらに十分に行えるようにする。	
	確かな学力を身につけさせる。	学び方を指導する。表現力を高めさせる。	B	B	欠席や遅刻が学期を追うごとに改善されてきた。授業を大切に考える生徒もでてきた	さらに欠席や遅刻を少なくし、授業に積極的に参加できるよう、LHR等を通じて指導する。	
	進路について、方向性を確立させる。	具体的な情報を提供し、考えさせたり、選択させる。	A		アルバイトなどの就労を通じて働くことの意義について考えることができるようになってきた。	将来継続就労を希望する生徒に対して、自分自身の信用力を高める指導を行う。	
四 学 年	最後の高校生活の充実と、進路の実現を図る。	社会人として必要な生活態度・礼儀やマナーとともに、最上級生として責任ある言動を身に付けさせる。	B	B	最低限の生活態度・礼儀やマナーを身につける事はできたが、それらの向上を図ることはできなかった。	生徒の言動や変化に注意を払いながら、生徒の理解を図ることが大切である。	
		進路情報伝達や進路相談を行い、生徒の主体的な進路実現ができるよう指導する。	B	B	面接だけでなく授業前後の時間を利用して生徒の希望や目標を聞き、それに向けた心構えや行動の指導を行った。	卒業後は自分の判断で選択・決定をしなければならないので、主体的に行動できる生徒を育てる。	
国 語 科	漢字の習得に対しての関心を高め興味をもたせる。 コミュニケーションを図り意見の交流を大切ににする。	読み書きに関心をもち知識を確実なものにしている。	B	B	理解することを大切にして自ら考えて学習する。	知識を身につけることに対して前向きな態度を大切にする。	
		理解してわかることのおもしろさを感じて自ら取り組む。	A	B	自分の意見を相手の人に的確に伝えるよう心がける。	自らの考えを相手に伝えるにはどのような方法があるのか実際に考えて行動してみる。	
地 理 歴 史 科	生徒にとって身近なことから、興味や関心をもたせる。	各種メディアの資料、視聴覚教材の積極的活用を図る。	A	B	歴史を学ぶ授業を中心として視聴覚教材の活用が進んだ。年代地図などを進んで見れるようになってきた。	今後も引き続き視聴覚教材の活用を進め、生徒の興味や関心を引き出すようにする。	
	時代や国々による相違点を認識させる。	美術・文学・音楽等の教材を取り入れ、文化的教養を高めることを目指す。	B	B	諸外国の物事や文化について興味や関心を引き出すことができた。	歴史的な出来事について身近な人物などを取り上げ、進んで興味や関心をもたせるようにする。	
	歴史認識を基礎に幅広い知識を身につけさせる。	考えや思いを文章化できるようになることを目指す。高卒認定制度の受験対策を併せて実施する。	B	B	高卒認定試験について意欲的に考えることができた。3名の合格者をだすことができた。	今後も高卒認定試験の校内での説明会等に積極的に参加させ、将来の展望につなげるようにする。	
公 民 科	生徒が授業に興味・関心を持つように、時事問題を適時取り入れ活用する。	最新のニュースや統計、情報などに注目し、授業に活用が可能な話題を積極的に取り入れる。	A	B	日本国内や世界各地の主な出来事を取り上げ、興味や関心を持たせるようにした。新聞記事やテレビニュースに興味を持つ生徒も出てきた。	これからも具体的な出来事や人物名を取り上げることで、社会の出来事に関心を持たせるようにする。	
	基礎的知識の習得を図るため、教材や資料を精選する。	都道府県の位置や県庁所在地など、基礎的な知識の定着を図る。プリント教材等の活用を積極的に取り入れる。	B	B	都道府県や市町村の位置、主な産業などについて学習することができた。知識としての定着は不十分であった。	将来生活する上で必要になるであろう事柄や知識を学習プリントを繰り返し使用する。授業での質問回数を増やす。	
	現代社会の問題や課題を、主体的に学ぶ視点を養う。	討論や意見交換などを通じて、自ら問題に対応する力を身につける。	B	B	18歳選挙年齢制などを題材として授業の中で取り上げることができた。	「私たちが拓く日本の未来」の教材の効果的な活用をはかる。	
数 学 科	基礎的な技能の習得を図る。	かなり基礎的な内容から説明する。	A	B	基礎的な内容に絞って、小中学校の計算を見直した。こびりついた劣等感をぬぐいきれない生徒がいる。	学方面のつまずきを把握し、高校の基礎的な内容に少しずつ含めて、修正していく。	
		自らの手で問題を解く習慣をつける。	B	B	空欄をうめる形式の発問(板書)が有効であった。		
理 科	基礎・基本的な内容の習得を図る。	ノートの取り方の指導や振り返り学習を重点的に行う。	B	B	ノート点検とプリントによる復習・補習を定期的に行うことができた。	学年によって生徒の習熟度に差があるものの、今後もノートの取り方等の振り返り学習を継続していく必要がある。	
	科学への興味・関心を引き出し、科学的な思考力を養う。	科学ニュースの話題や演示実験、視聴覚機材を授業に適宜取り入れる。	B	B	身近な話題や視聴覚教材を用いた授業を展開することができた。	今年度は生徒実験を行うことができなかったため、可能な限り改善していく	
保 健 体 育 科	授業を通して集団の一員であることを理解させる。	集合・整列等の集団行動を実施し、迅速な行動を身につけさせる。	B	B	整列・挨拶等ある程度習慣化することができたが、一部の生徒に徹底させることができなかった。	引き続き、けじめをつけることの大切さを理解させ、必要な集団行動を身につけさせていきたい。	
	運動をすることで楽しさや喜びを味わうとともに、出来た時の達成感を体験させる。	主として球技種目を実施し、生涯に渡って運動を続けていける力を身につけさせる。	B	B	球技を中心に、運動することの大切さ楽しさを感じさせることができた。	生涯に渡って運動を続けていけるよう自らが進んでする積極性も身につけさせていきたい。	
芸 術 科 (書 道 科)	書の基礎的な表現力を養う。	古名蹟を手本にして習わせる。	B	B	一年間で自分の上達ぶりを実感している生徒が多かった。	少人数のため、生徒ごとに課題の難易度を変えることも考える必要がある。	
	書を通して自己を表現する。	漢字仮名交じりの書を書かせる。 基本的な表現力を定着させる。	B A	B	生徒が表現したい「ことば」や表現を考えさせることができた。	二字や四字だけの臨書だけでなく、複数の文字を練習する時間をもうけ、表現の幅を広げられるよう工夫する。	
英 語 科	英語に対する苦手意識をなくすため、自らが積極的に参加できる楽しい授業を工夫する。	表現活動を取り入れ、生徒が興味をもって学習できる授業形態をつくりだす。	B	B	まじめに授業を受けている。積極的に取組めるようになる。	正しい発音で、正確に意味をつかんで理解させたい。	
	学習内容の基礎・基本を定着させる。	復習に力をおき、学習内容を確実に定着させ積み上げていくようにする。	B	B	ノート提出や小テストの完成は各自きちんとできている。	自分の学習スタイルを確立し、積極的に学習させたい。	
家 庭 科	生活に関する基礎的・基本的知識と技能を習得させ、人との関わりの中で、生活者としての自覚と責任のある人間を育てる。	食育を中心に家族、保育の重要性を認識させ、賢い消費者としての実践力を身につけさせる。	A	B	一般的に、自己中心的なものの見方・考え方で、思慮が浅く、「今を生きていること」への真実味が乏しい。	実習を多く取り入れ、自らが問題を発見・解決できる力をつけたい。実習の場の確保と生活の環境に即した課題研究が必要となる。	
		特に、主体的な消費、行動、消費者の権利と責任、資源、環境など、ライフスタイルを考える力を育てる。	B	B	自分中心の活動には積極的で、ある程度評価できる。この生活力を伸ばしていきたい。		
情 報 科	情報社会に適切に参画できる能力・態度を育てるとともに、情報機器を効果的に活用できる力を身につけさせる。	情報に関する倫理的態度と安全に配慮する態度を養う。	B	B	事例をとおして、SNSへの接し方について考えさせることができた。	コミュニケーションを行うのが、苦手な生徒は多いので、本年度は少人数対面でのプレゼンテーションの練習を行った。来年度はクラス全体での発表ができるようにと思う。	
		情報機器を活用して、効果的なコミュニケーションを行う能力を養う。	B	B	コンピュータを使ってプレゼンテーション資料作成などができるようになった。		
商 業 科	ビジネス活動に必要な知識や技能を習得させ、社会人として必要な素養の涵養を図る。	基礎・基本を重視し、問題演習をとおして知識の定着を図る。	B	B	各科目ともに、毎時間の継続的な問題演習を積み重ねることができた。課題提出も定期的に行った。	今後も、継続的な問題演習を積み重ねるとともに、電卓やPCを使った課題提出などを実施することで、より習熟を深めさせたい。	
		ビジネス活動を計数的側面から理解させる。	B	B	電卓やPCなどの計算用具を利用して、計数的にビジネス活動を理解させることができた。		